

竹取物語

廿十  
六五回

篇

13  
3052  
74



竹取物語十五編

非題曲五國豆

山東京山作

歌川房種画



壬子 新鶴 錦森 堂梓

下

五

京山女画

房種画



京山女作

下

中百物語十四編



上



一猛齋芳虎画

十六編下

も  
た  
が  
ま  
あ



京山老人作

十六編上

弱  
森  
葉  
夜

竹  
取

特  
へ13  
3052  
7

山東菴系山作

秋川芳虎画



# 竹取譚

一守十六編下



竹取物語十四編嘉永三戌夏稿本同史春新板

類帝ハ牧童ケ詞ト伝ト徳宗ハ農史の  
 けハ街談巷説も必とる人ト云りト十  
 さるバ稚童の体州みふとて作まる由用工史ふ  
 ら加ハふかどく小いさハ枝打志るハ若  
 若ハ孝心端山小志げる上竹がまがなる  
 真道小とち入りあふとてなるん  
 八十二歳  
 嘉永三年庚戌仲夏  
 京山老人







二平は赤馬の  
 内方と赤馬  
 二平は赤馬の  
 内方と赤馬

三段  
 赤馬仁平次  
 赤馬仁平次



④ 金十平次と赤馬の  
 又赤馬の赤馬の赤馬

赤馬仁平次

三段  
 赤馬仁平次  
 赤馬仁平次

赤馬仁平次  
 赤馬仁平次

赤馬仁平次  
 赤馬仁平次



おきん

赤馬仁平次  
 赤馬仁平次





五人の又かへの... 忠臣 山田三郎



忠臣  
山田三郎

三郎の... 忠臣の... 山田三郎の... 忠臣の...

あつた... 忠臣の... 山田三郎の...



忠臣の... 山田三郎の...

あつた... 忠臣の... 山田三郎の...





いあひひいあひ  
すくまらあひのゆ  
よこのけつひあひの  
かみふあひのあひの  
あひのあひのあひの  
あひのあひのあひの  
あひのあひのあひの  
あひのあひのあひの

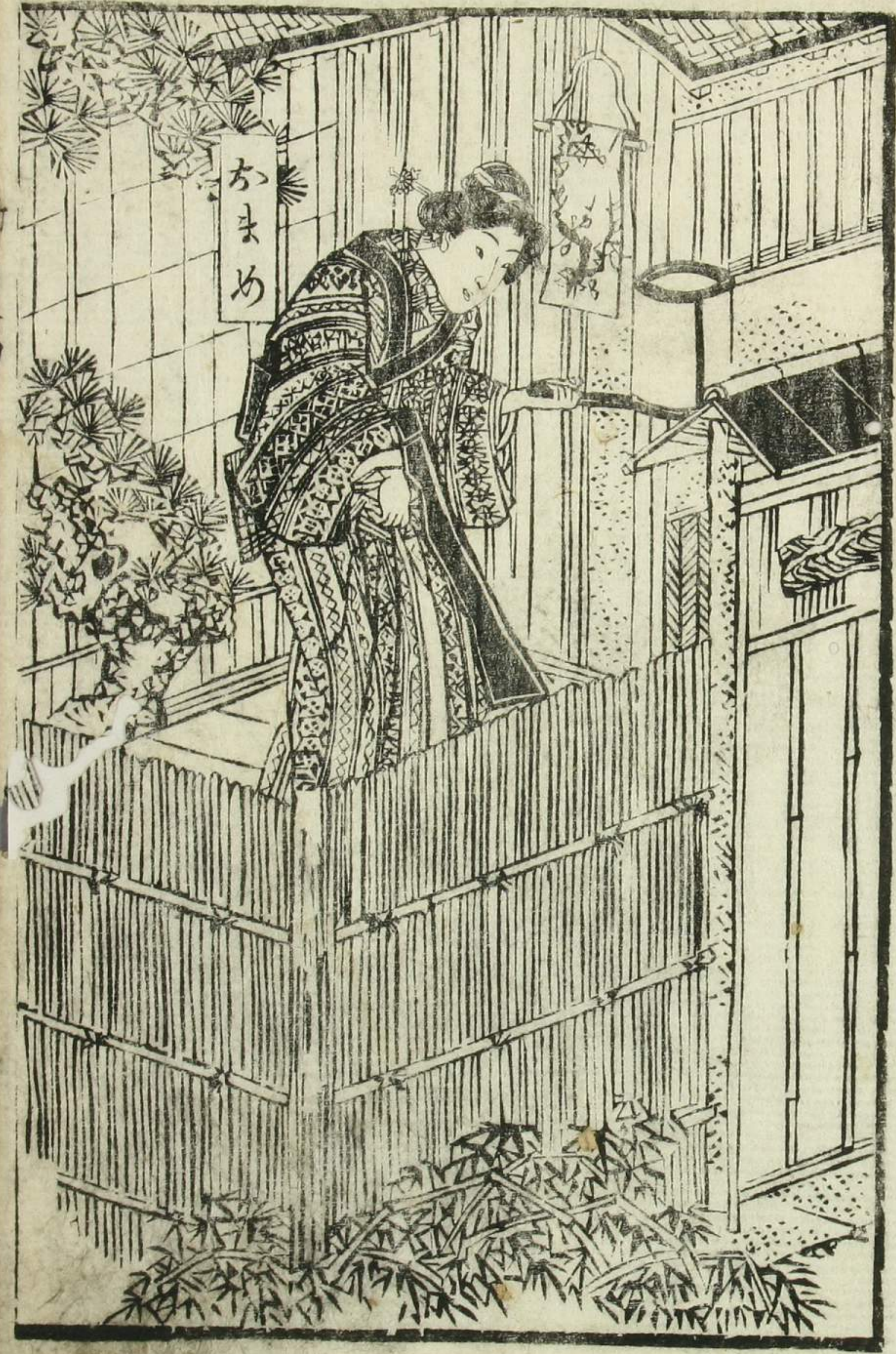
④ 甲子年  
いあひひいあひ  
あひのあひのあひの  
あひのあひのあひの  
あひのあひのあひの  
あひのあひのあひの  
あひのあひのあひの  
あひのあひのあひの

いあひひいあひ  
すくまらあひのゆ  
よこのけつひあひの  
かみふあひのあひの  
あひのあひのあひの  
あひのあひのあひの  
あひのあひのあひの  
あひのあひのあひの



いあひひいあひ  
すくまらあひのゆ  
よこのけつひあひの  
かみふあひのあひの  
あひのあひのあひの  
あひのあひのあひの  
あひのあひのあひの  
あひのあひのあひの

いあひひいあひ  
すくまらあひのゆ  
よこのけつひあひの  
かみふあひのあひの  
あひのあひのあひの  
あひのあひのあひの  
あひのあひのあひの  
あひのあひのあひの



かまめ



赤馬仁平次

五三郎と云ふ者にて  
 一ツはけりていふこと  
 今もなつていふこと  
 さあつと云ふもの馬が  
 わくふをまじりおまめめん  
 とおかのいぢまことせりて  
 まあつと後ひるさても  
 かそち一死をみるなり  
 又かど口とさうちまて  
 あのくねさ  
 あけろくと  
 いひのあ馬が  
 こあつと  
 おまめめん  
 あけよと  
 さあつと  
 かどと

〇ひるけりて馬うらふなり  
 天があらぬおまめめん  
 久しきまの海あり  
 今の人いふまのいふ人

四つと云ふ人今の人と  
 国をいふか  
 かたつていふ馬が  
 今もなつていふこと  
 一ツはけりていふこと  
 さあつと云ふもの馬が  
 わくふをまじりおまめめん  
 とおかのいぢまことせりて  
 まあつと後ひるさても  
 かそち一死をみるなり  
 又かど口とさうちまて  
 あのくねさ  
 あけろくと  
 いひのあ馬が  
 こあつと  
 おまめめん  
 あけよと  
 さあつと  
 かどと

ちげん

五段  
 武主の死に  
 ちかぢかぢとわなわなと泣き  
 けりては山田の二つと  
 りのけのさるはよひく  
 りの目もなほ紅いお  
 甲のひらめくこころ  
 ろろろとて合の  
 ろひかこころの  
 七段  
 武主の死に  
 けりては山田の二つと  
 りのけのさるはよひく  
 りの目もなほ紅いお  
 甲のひらめくこころ  
 ろろろとて合の  
 ろひかこころの



山中熊五郎

武主の死に  
 ちかぢかぢとわなわなと泣き  
 けりては山田の二つと  
 りのけのさるはよひく  
 りの目もなほ紅いお  
 甲のひらめくこころ  
 ろろろとて合の  
 ろひかこころの

仁平次  
 武主の死に  
 ちかぢかぢとわなわなと泣き  
 けりては山田の二つと  
 りのけのさるはよひく  
 りの目もなほ紅いお  
 甲のひらめくこころ  
 ろろろとて合の  
 ろひかこころの



梅若丸の八女

武主の死に  
 ちかぢかぢとわなわなと泣き  
 けりては山田の二つと  
 りのけのさるはよひく  
 りの目もなほ紅いお  
 甲のひらめくこころ  
 ろろろとて合の  
 ろひかこころの





あまのこ  
あまのこ  
あまのこ  
あまのこ  
あまのこ  
あまのこ  
あまのこ  
あまのこ  
あまのこ  
あまのこ

あまのこ  
あまのこ  
あまのこ  
あまのこ  
あまのこ  
あまのこ  
あまのこ  
あまのこ  
あまのこ  
あまのこ

あまのこ



あまのこ  
あまのこ  
あまのこ  
あまのこ  
あまのこ  
あまのこ  
あまのこ  
あまのこ  
あまのこ  
あまのこ

あまのこ  
あまのこ  
あまのこ  
あまのこ  
あまのこ  
あまのこ  
あまのこ  
あまのこ  
あまのこ  
あまのこ

あまのこ

あまのこ  
あまのこ  
あまのこ  
あまのこ  
あまのこ  
あまのこ  
あまのこ  
あまのこ  
あまのこ  
あまのこ





佛の八女

目よりあかたきうとりの神の  
はすののもるるがリ

あかたきうとりの神の  
はすののもるるがリ

あかたきうとりの神の  
はすののもるるがリ

あかたきうとりの神の  
はすののもるるがリ

あかたきうとりの神の  
はすののもるるがリ

あかたきうとりの神の  
はすののもるるがリ

あかたきうとりの神の  
はすののもるるがリ

あかたきうとりの神の  
はすののもるるがリ



赤馬仁平次

山中熊五郎

あかたきうとりの神の  
はすののもるるがリ

あかたきうとりの神の  
はすののもるるがリ

あかたきうとりの神の  
はすののもるるがリ

あかたきうとりの神の  
はすののもるるがリ

あかたきうとりの神の  
はすののもるるがリ





世のあはれも  
 らいよとこそ  
 がらふはひせん  
 のふり  
 うりごわり  
 二年村を  
 山中さ  
 女んと  
 中しては  
 おもは  
 ありはる

山中熊五郎

山熊五郎の妻  
 久蔵  
 川五郎  
 山熊五郎  
 久蔵  
 山熊五郎  
 久蔵  
 山熊五郎  
 久蔵



そのあはれも  
 七年いせは  
 ありはる  
 おもは  
 ありはる  
 おもは  
 ありはる  
 おもは  
 ありはる  
 おもは

山田の三郎

しよゆ

山田の三郎  
 しよゆ  
 山田の三郎  
 しよゆ  
 山田の三郎  
 しよゆ  
 山田の三郎  
 しよゆ









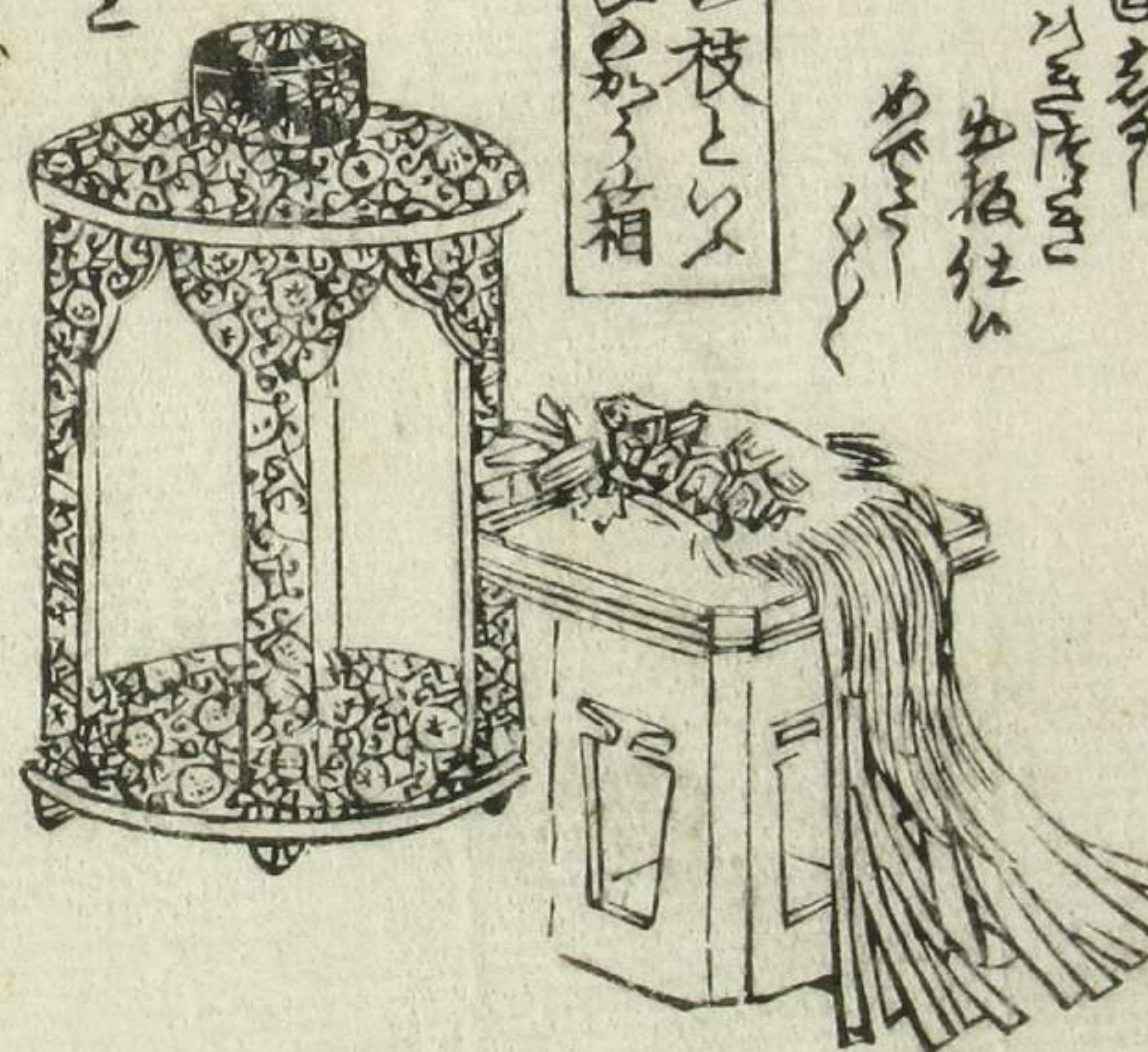




京山老人作 歌川國輝画

玉の枝とて  
かざりて  
水もたまに  
はたてちのけり  
まゝのり  
すあおたけり  
かざりて  
とみわたる  
はたてちのけり  
まゝのり  
すあおたけり

竹取物語十四巻んぞろ



玉の枝とて  
かざりて  
水もたまに  
はたてちのけり  
まゝのり  
すあおたけり  
かざりて  
とみわたる  
はたてちのけり  
まゝのり  
すあおたけり

竹取物語十五編

梅若事跡  
松若外傳

竹取物語十五編

嘉 三丰庚戌秋稿  
水 奉同初冬上梓  
四年辛卯春卷

偶自山傍院移深傷  
砌裁好風吹日起幽  
多智酌未歸舟率  
詩興籠烟伴酒杯香自  
騰輕起蕭颯而夢迴

東題行

百樹



○才二原... 松若... 父... 田の... 少... 郎... 哉...

松若... 若... 人... の... ま... と... り...  
 松若... 若... 人... の... ま... と... り...  
 松若... 若... 人... の... ま... と... り...

松若... 若... 人... の... ま... と... り...  
 松若... 若... 人... の... ま... と... り...  
 松若... 若... 人... の... ま... と... り...

松若

松若... 若... 人... の... ま... と... り...  
 松若... 若... 人... の... ま... と... り...  
 松若... 若... 人... の... ま... と... り...



松若

松若

松若... 若... 人... の... ま... と... り...  
 松若... 若... 人... の... ま... と... り...  
 松若... 若... 人... の... ま... と... り...



松若

松若

松若... 若... 人... の... ま... と... り...  
 松若... 若... 人... の... ま... と... り...  
 松若... 若... 人... の... ま... と... り...

松若... 若... 人... の... ま... と... り...  
 松若... 若... 人... の... ま... と... り...  
 松若... 若... 人... の... ま... と... り...







① さかひのしつゝのあはれ  
 かまじぞうたがら  
 そまへとちあぢ  
 すまゝぞうあはれのまこ  
 んまきぢけり  
 ② さかひのしつゝ  
 ③ さかひのしつゝ  
 ④ さかひのしつゝ

みくろの  
 こやろのあはれ  
 あまびきまねこひまやの  
 うちよりとまなかけし  
 みきりのまへあはれ  
 ちよたまよひまの  
 やとろあはれ  
 ⑤

① さかひのしつゝ  
 ② さかひのしつゝ  
 ③ さかひのしつゝ  
 ④ さかひのしつゝ  
 ⑤ さかひのしつゝ  
 ⑥ さかひのしつゝ  
 ⑦ さかひのしつゝ  
 ⑧ さかひのしつゝ  
 ⑨ さかひのしつゝ  
 ⑩ さかひのしつゝ



① さかひのしつゝ  
 ② さかひのしつゝ  
 ③ さかひのしつゝ  
 ④ さかひのしつゝ  
 ⑤ さかひのしつゝ  
 ⑥ さかひのしつゝ  
 ⑦ さかひのしつゝ  
 ⑧ さかひのしつゝ  
 ⑨ さかひのしつゝ  
 ⑩ さかひのしつゝ  
 ⑪ さかひのしつゝ  
 ⑫ さかひのしつゝ  
 ⑬ さかひのしつゝ  
 ⑭ さかひのしつゝ  
 ⑮ さかひのしつゝ  
 ⑯ さかひのしつゝ  
 ⑰ さかひのしつゝ  
 ⑱ さかひのしつゝ  
 ⑲ さかひのしつゝ  
 ⑳ さかひのしつゝ

① さかひのしつゝ  
 ② さかひのしつゝ  
 ③ さかひのしつゝ  
 ④ さかひのしつゝ  
 ⑤ さかひのしつゝ  
 ⑥ さかひのしつゝ  
 ⑦ さかひのしつゝ  
 ⑧ さかひのしつゝ  
 ⑨ さかひのしつゝ  
 ⑩ さかひのしつゝ  
 ⑪ さかひのしつゝ  
 ⑫ さかひのしつゝ  
 ⑬ さかひのしつゝ  
 ⑭ さかひのしつゝ  
 ⑮ さかひのしつゝ  
 ⑯ さかひのしつゝ  
 ⑰ さかひのしつゝ  
 ⑱ さかひのしつゝ  
 ⑲ さかひのしつゝ  
 ⑳ さかひのしつゝ











①いつてくま  
 こゝろのつれづれ  
 ねすまればめがね  
 うあるのち  
 つまごめゆるのちをひ  
 ちくるハハやうをどきり  
 ませせうとていつまも人由  
 びなりまきろかやう不  
 おまりくまふるじろふ  
 りひんをせばやまじろふ  
 ねとてきくともくししん入  
 よもむ入きくともきく  
 かさといいつまのちを  
 くらひてさまりませ  
 ころあどくまゆめつても  
 のちまひのあめめがねふ  
 こもたりやいふゆつとて  
 をまじりて信川をりや

珍

つらいつまあて  
 つまらうて八人のち  
 くゆわくゆわえ  
 はく人のちあふ  
 大信川をりは  
 ちとゆめめくつと  
 ぬれ女中の中  
 ちゆあはしころり  
 とゆおんるつとち  
 わがひんととと  
 中のいんねとこ  
 ろうゆめあふ  
 わがひんをとと  
 のちのつらとち  
 らむとるふと  
 らむとるふと  
 らむとるふと  
 らむとるふと  
 らむとるふと



千五

五版  
 けの石の八人のち  
 ちあといひ又は  
 せんとちあといひ  
 みやんとちあといひ  
 けの石の八人のち  
 ちあといひ又は  
 せんとちあといひ  
 みやんとちあといひ  
 けの石の八人のち  
 ちあといひ又は  
 せんとちあといひ  
 みやんとちあといひ

三吉

京山老人作房種一画

孝子之表

つぎ・八巻ハツと・文中  
 三ツ川さあけ井  
 小のまひたあけハ八巻  
 徳みくふかえことナまきト  
 のひすてかえ入つふけり  
 六巻からして徳川の  
 徳みくふ女房前帯し  
 のひさきてあふあひあや  
 徳みくふのおをさふあや  
 かけらつあせんあつてあや  
 さあを甲せんまのさつりこあ  
 徳みくふも男あつりあや  
 徳みくふつああ丁とああ  
 あれどあつりあひあつりあ  
 徳みくふあああああああ  
 上の中のあああああああ  
 のあけあああああああ  
 あああああああああああ

三衣母



○孝子  
 三衣母  
 あああああああああああ

竹取十五編下巻

七巻

つぎ・八巻ハツと・文中  
 三ツ川さあけ井  
 小のまひたあけハ八巻  
 徳みくふかえことナまきト  
 のひすてかえ入つふけり  
 六巻からして徳川の  
 徳みくふ女房前帯し  
 のひさきてあふあひあや  
 徳みくふのおをさふあや  
 かけらつあせんあつてあや  
 さあを甲せんまのさつりこあ  
 徳みくふも男あつりあや  
 徳みくふつああ丁とああ  
 あれどあつりあひあつりあ  
 徳みくふあああああああ  
 上の中のあああああああ  
 のあけあああああああ  
 あああああああああああ

二おせんが

井戸の前



○おせんが  
 井戸の前  
 あああああああああああ



さうのちたうゝるさうのちたうゝる  
まの目うらみするさうのちたうゝる  
ひき平のさうのちたうゝる  
えれい●まはうゝるさうのちたうゝる  
同より●まはうゝるさうのちたうゝる  
つがうゝるさうのちたうゝる  
あよゝるさうのちたうゝる  
月娘のさうのちたうゝる  
あつゝるさうのちたうゝる  
まの目うらみするさうのちたうゝる  
よの目うらみするさうのちたうゝる  
さうのちたうゝる

孝子  
三  
本

月娘  
百



さうのちたうゝるさうのちたうゝる  
まの目うらみするさうのちたうゝる  
ひき平のさうのちたうゝる  
えれい●まはうゝるさうのちたうゝる  
同より●まはうゝるさうのちたうゝる  
つがうゝるさうのちたうゝる  
あよゝるさうのちたうゝる  
月娘のさうのちたうゝる  
あつゝるさうのちたうゝる  
まの目うらみするさうのちたうゝる  
よの目うらみするさうのちたうゝる  
さうのちたうゝる

孝子  
三  
本



さうのちたうゝるさうのちたうゝる  
まの目うらみするさうのちたうゝる  
ひき平のさうのちたうゝる  
えれい●まはうゝるさうのちたうゝる  
同より●まはうゝるさうのちたうゝる  
つがうゝるさうのちたうゝる  
あよゝるさうのちたうゝる  
月娘のさうのちたうゝる  
あつゝるさうのちたうゝる  
まの目うらみするさうのちたうゝる  
よの目うらみするさうのちたうゝる  
さうのちたうゝる

孝子  
三  
本







ついでこれら... (vertical text at the top of the right page)

③... (vertical text next to the woman in the kimono)



おせん

④... (vertical text at the bottom right of the page)

たうと... (vertical text at the top of the left page)

山手... (caption for the woman)

風田... (caption for the man)



十一... 又... (vertical text in a box on the left side)









かみむす  
かみむす  
かみむす  
かみむす  
かみむす

山中養父

あまのりふのあま  
あまのりふのあま  
あまのりふのあま  
あまのりふのあま  
あまのりふのあま  
あまのりふのあま  
あまのりふのあま  
あまのりふのあま  
あまのりふのあま  
あまのりふのあま



十三段かきとらぬまのひまはしむしむせ

かきとらぬまのひまはしむしむせ

あまのりふのあま  
あまのりふのあま  
あまのりふのあま  
あまのりふのあま  
あまのりふのあま  
あまのりふのあま  
あまのりふのあま  
あまのりふのあま  
あまのりふのあま  
あまのりふのあま

おせん

あまのりふのあま  
あまのりふのあま  
あまのりふのあま  
あまのりふのあま  
あまのりふのあま  
あまのりふのあま  
あまのりふのあま  
あまのりふのあま  
あまのりふのあま  
あまのりふのあま

ついでに... 月夜や清く... 二十... けり... 夕陽の十六...

十四

月夜や清く... 夕陽の十六... けり... 二十...

小津兼太郎



月夜や清く



大い... 月夜... 夕陽... けり... 二十...

三分... けり...

六... ひ...

ついでに... 月夜や清く... 二十... けり... 夕陽の十六...



おせん

おせん

十五

大い... 月夜... 夕陽... けり... 二十...

大い... 月夜... 夕陽... けり... 二十...

かゝるあつたむらさきもぐりてのりえ  
おせんがらあつたむらさきもぐりてのりえ  
かゝるあつたむらさきもぐりてのりえ  
おせんがらあつたむらさきもぐりてのりえ  
かゝるあつたむらさきもぐりてのりえ  
おせんがらあつたむらさきもぐりてのりえ  
かゝるあつたむらさきもぐりてのりえ  
おせんがらあつたむらさきもぐりてのりえ  
かゝるあつたむらさきもぐりてのりえ  
おせんがらあつたむらさきもぐりてのりえ

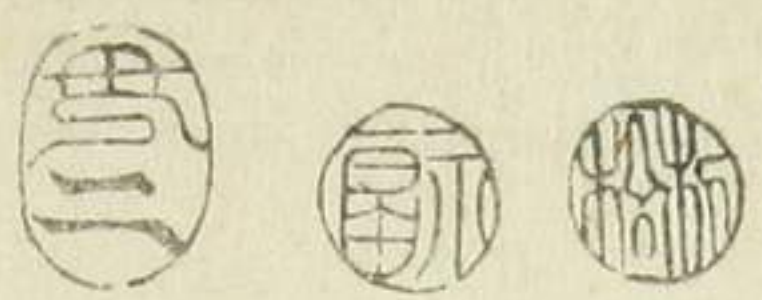
# 京山作



月夜や  
女房  
お百

# 房種画

十六のあつたむらさきもぐりてのりえ  
おせんがらあつたむらさきもぐりてのりえ  
かゝるあつたむらさきもぐりてのりえ  
おせんがらあつたむらさきもぐりてのりえ



此竹取物語は天保八年酉の春の稿本を錦森堂  
開板志し海を夢りやをのり十八年歳く小二編  
三編の竹の子生むとあつたむらさきもぐりてのりえ  
編の枝葉繁き海を夢りやをのり十八年歳く小二編  
順朝臣が竹取の竹のわがや、赫奕姫のわがやを顔  
出さどあつたむらさきもぐりてのりえ  
昼狐の逃道も速ひてあつたむらさきもぐりてのりえ  
いまいさどあつたむらさきもぐりてのりえ  
あつたむらさきもぐりてのりえ

嘉永 六年癸丑仲春稿本 八十五歳  
同年初冬開板發行 山東菴京山





竹取物語十六編

おまらうたしその  
あつた月夜や  
玉川りき  
と京を



梅若丸老女  
きよ川

十六の  
たを  
人の  
おの  
ため  
その  
あつ  
あつ  
あつ  
あつ

あつた月夜や  
玉川りき  
と京を  
あつた月夜や  
玉川りき  
と京を  
あつた月夜や  
玉川りき  
と京を

あつた月夜や  
玉川りき  
と京を  
あつた月夜や  
玉川りき  
と京を  
あつた月夜や  
玉川りき  
と京を



きよ川  
あつた月夜

あつた月夜や  
玉川りき  
と京を  
あつた月夜や  
玉川りき  
と京を  
あつた月夜や  
玉川りき  
と京を

あつた月夜や  
玉川りき  
と京を  
あつた月夜や  
玉川りき  
と京を  
あつた月夜や  
玉川りき  
と京を



まじりお傳三  
 ①きよ川一川の  
 ②きよ川一川の  
 ③きよ川一川の  
 ④きよ川一川の

⑤きよ川一川の  
 ⑥きよ川一川の  
 ⑦きよ川一川の  
 ⑧きよ川一川の

⑨きよ川一川の  
 ⑩きよ川一川の  
 ⑪きよ川一川の  
 ⑫きよ川一川の



月花や女房  
 お百  
 ①きよ川一川の  
 ②きよ川一川の  
 ③きよ川一川の  
 ④きよ川一川の

⑤きよ川一川の  
 ⑥きよ川一川の  
 ⑦きよ川一川の  
 ⑧きよ川一川の















つぎむすめがけり  
 ぬかりぬもちすぢの  
 あまのこちのあまを  
 ひびのこのあまを  
 みる目もちの  
 あまのこちの  
 ぐくろの神くも  
 たのむらひ  
 あまの月の  
 ちてとまが  
 るのまのり  
 とるももあま  
 男あまのあま  
 多きあまのあま  
 めくひあまのあま  
 せむあまのあま  
 むすめさまのあま  
 十七八のつねのあま  
 ぐせのあまのあま  
 あまのあまのあま  
 どのあまのあま  
 ことあまのあま  
 ひびくのせくまのあま

あまのあまのあま  
 小袖をぬくしけり



京山老人作  
 歌川芳虎画



竹取物語十六編下巻

九段 さるやまのうら  
 ぬがけのあまを  
 ひびのあまを  
 せむあまを  
 あまのあまを  
 けるあまを  
 ぬくあまを  
 男あまのあま  
 めくあまのあま  
 おまのあまのあま  
 けむあまのあま  
 紫あまのあま  
 ちあまのあま  
 うらあまのあま  
 きあまのあま  
 らうあまのあま  
 男あまのあま  
 むあまのあま  
 ちあまのあま  
 ひびのあまのあま  
 三月あまのあま







村のちやをまわつて  
 三十音のたれもあつた  
 村のちやをまわつて  
 村のちやをまわつて  
 村のちやをまわつて  
 村のちやをまわつて  
 村のちやをまわつて  
 村のちやをまわつて  
 村のちやをまわつて  
 村のちやをまわつて  
 村のちやをまわつて  
 村のちやをまわつて



小なわとくより  
 ちやくちのぬ  
 ちやくちのぬ  
 ちやくちのぬ  
 ちやくちのぬ  
 ちやくちのぬ  
 ちやくちのぬ  
 ちやくちのぬ  
 ちやくちのぬ  
 ちやくちのぬ  
 ちやくちのぬ  
 ちやくちのぬ





① 月夜のむすめおせん  
 ② 月夜をいそいであそぶと  
 ③ 月夜をいそいであそぶと  
 ④ 月夜をいそいであそぶと



④ 月夜をいそいであそぶと  
 ⑤ 月夜をいそいであそぶと  
 ⑥ 月夜をいそいであそぶと  
 ⑦ 月夜をいそいであそぶと

⑧ 月夜をいそいであそぶと  
 ⑨ 月夜をいそいであそぶと  
 ⑩ 月夜をいそいであそぶと  
 ⑪ 月夜をいそいであそぶと

⑫ 月夜をいそいであそぶと  
 ⑬ 月夜をいそいであそぶと  
 ⑭ 月夜をいそいであそぶと  
 ⑮ 月夜をいそいであそぶと



山手まき  
 山手まき

風田らあん

⑯ 月夜をいそいであそぶと  
 ⑰ 月夜をいそいであそぶと  
 ⑱ 月夜をいそいであそぶと  
 ⑲ 月夜をいそいであそぶと

さきさきかぐろおねあつるもいん  
まきまきかぐろおねあつるもいん  
さきさきかぐろおねあつるもいん

あつるも  
おねの  
あつるも



④おねあつるのまきまきかぐろおねあつるもいん  
おねあつるのまきまきかぐろおねあつるもいん

月田らうあつるおねあつるのまきまきかぐろおねあつるもいん

⑤あつるのまきまきかぐろおねあつるもいん  
あつるのまきまきかぐろおねあつるもいん

③男を  
さきさきかぐろおねあつるもいん  
まきまきかぐろおねあつるもいん



風田  
おねあつる



⑥あつるのまきまきかぐろおねあつるもいん  
あつるのまきまきかぐろおねあつるもいん

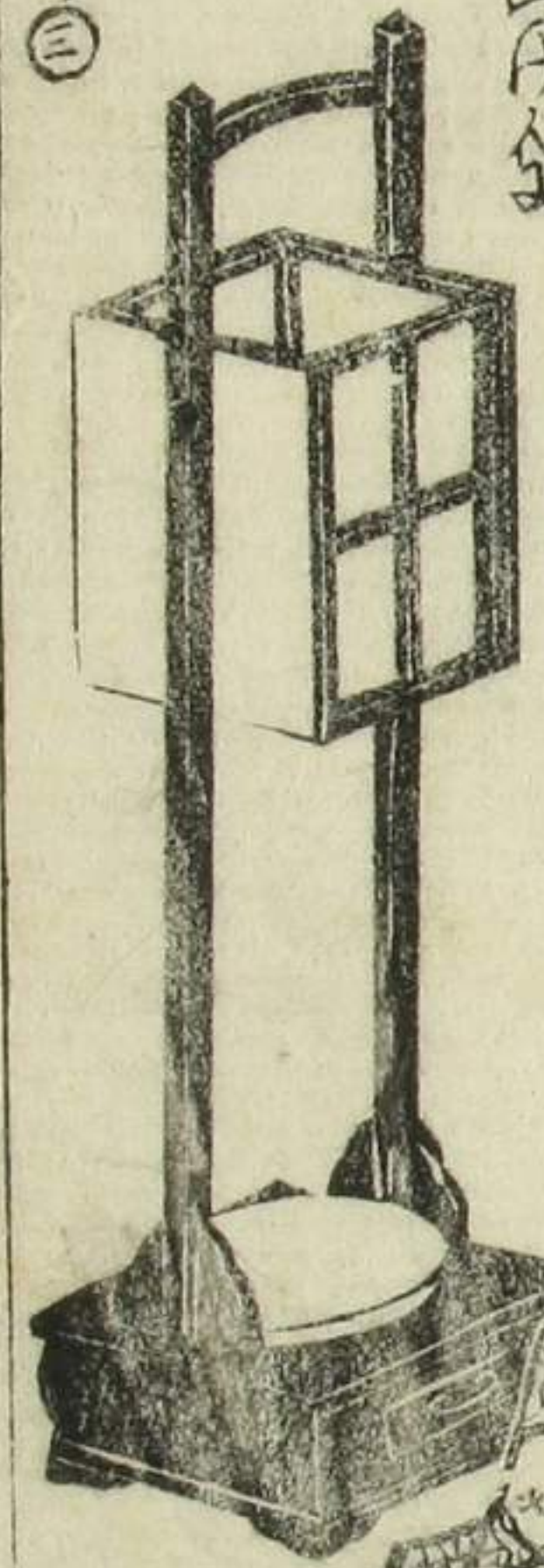
①あつるのまきまきかぐろおねあつるもいん  
あつるのまきまきかぐろおねあつるもいん

十二夜

山中まきまきかぐろおねあつるもいん

月田  
おねあつる

あつるのまきまきかぐろおねあつるもいん  
あつるのまきまきかぐろおねあつるもいん



②あつるのまきまきかぐろおねあつるもいん  
あつるのまきまきかぐろおねあつるもいん

十三夜

あつるのまきまきかぐろおねあつるもいん



おせん (multiple labels)  
 ①おせんは...  
 ②おせんは...  
 ③おせんは...  
 ④おせんは...  
 ⑤おせんは...



おせん (multiple labels)  
 ①おせんは...  
 ②おせんは...  
 ③おせんは...  
 ④おせんは...  
 ⑤おせんは...



おせんがうらま  
らうあんがうらま  
あはくとまを  
まをうらま  
らうあん  
らうあん  
まを

おせんがうらま  
らうあんがうらま  
あはくとまを  
まをうらま  
らうあん  
らうあん  
まを

おせんがうらま  
らうあんがうらま  
あはくとまを  
まをうらま  
らうあん  
らうあん  
まを

おせん

おせん

おせんがうらま  
らうあんがうらま  
あはくとまを  
まをうらま  
らうあん  
らうあん  
まを

おせんがうらま  
らうあんがうらま  
あはくとまを  
まをうらま  
らうあん  
らうあん  
まを

おせん

おせんがうらま  
らうあんがうらま  
あはくとまを  
まをうらま  
らうあん  
らうあん  
まを



おせんがうらま  
らうあんがうらま  
あはくとまを  
まをうらま  
らうあん  
らうあん  
まを

おせん

おせん

おせんがうらま  
らうあんがうらま  
あはくとまを  
まをうらま  
らうあん  
らうあん  
まを

おせんがうらま  
らうあんがうらま  
あはくとまを  
まをうらま  
らうあん  
らうあん  
まを

おせんがうらま  
らうあんがうらま  
あはくとまを  
まをうらま  
らうあん  
らうあん  
まを









竹取物語  
加梨

新板  
春

十五編  
上册



馬吟所  
兼原治郎  
京山老人作  
身持画

馬吟所  
兼原治郎  
京山老人作

京山老人作  
歌川芳虎画

一歴世女裝考 四巻  
此書は上巻より近古まで女の  
凡俗装  
うづりうづり  
又さまざまを  
ごおね付の  
ばにあつたの  
たがはありあど  
古書よりり  
古圖はあつた  
うづりうづり  
たがはありあど  
古書よりり  
古圖はあつた  
うづりうづり  
又さまざまを  
ごおね付の  
ばにあつたの  
たがはありあど  
古書よりり  
古圖はあつた



仕付

竹取十六へんをわり  
▲とふ物語三へん  
▲新加不物語六へん

竹取十六へんをわり



竹  
雨  
下  
冊  
十五編

新編  
森治  
青梅

